

令和7年度 本部事務局事業報告

1 事業の概要

当福祉会は、昭和50年の設立以来、朝霞市、志木市、和光市の広域的な社会福祉事業の主たる担い手として、安心・安全で多様な福祉サービスを展開し、地域福祉の向上に努めてきました。令和7年度においても、障害児・者の直営2施設である「みつばすみれ学園」、「すずらん」の運営をはじめ、和光市から「ほんちょう保育園」、「にいくら保育園」の運営を受託しました。さらに、朝霞市の指定管理者として「特別養護老人ホーム朝光苑」、受託事業として、埼玉県から「障害児等療育支援事業」及び「南西部地域療育支援センター」、朝霞市から「地域包括支援センター朝光苑」の運営を行いました。また、当福祉会は創立50周年の節目を迎え、記念事業として記念品を制作しました。これにより、法人職員へ節目の年であることの意識を促し、組織の一体感の醸成を図りました。

福祉会を取り巻く環境変化に対応

（ 評議員及び役員の改選 ）

評議員及び役員（理事・監事）の任期は、令和7年6月24日開催の定時評議員会終結時までであり、平成29年度の社会福祉法人制度改革後2回目となる一斉改選を行いました。改選事務については、関係法令や定款等に基づき、適切かつ円滑に手続きを実施しました。

また、ガバナンス強化及びコンプライアンス徹底の取り組みとして、危機管理事案発生時の連絡体制を整備し、情報共有の迅速化及び対応の適正化を図りました。

（ 職員採用と人材育成 ）

職員採用においては、従来、電話連絡による申し込みや履歴書の事前提出により対応していましたが、法人ホームページの改修により申し込みや面接日程の調整をシステム化しました。これにより、事務手続きの簡素化を図るとともに、求職者の負担軽減につなげました。

また、就職フェアへの参加（4回）やインスタグラムの活用等により求人活動を行い、年度途中の採用者4人、令和8年4月1日付けの採用者7人（内、新卒者2人）、計11人を採用することができました。

人材育成については、県社協主催の階層別研修を基軸として、法人内外の研修受講を通じて継続的な育成に努めました。また、令和5年4月採用者に対する3年目研修（外部研修）や令和7年4月採用の新卒者に対するフォローアップ研修を実施しました。

（ 障害者雇用における法定雇用率の達成 ）

障害者雇用については、除外率の引き下げがあったものの、職員の欠員により、令和6年度と同様に3人以上の雇用が求められる状況となりました。しかしながら、令和4年2月以降、1人分の欠員が継続しており、令和7年度においても充足には至りませんでした。一方で、6月に1人の退職がありましたが、関係機関と連携した求人活動を実施し、9月から後任職員を採用しました。

また、令和8年7月には法定雇用率の引き上げが予定されており、職員採用の状況によっては、従来の3人から4人への雇用義務の増加が見込まれます。このため、障害者雇用が継続的に確保できる仕組みについて、引き続き検討を進めていきます。

2 理事会等の開催

(1) 理事会

開催回	開催日	決 議 事 項
第180回	6月6日	第1号議案 みつばすみれ学園運営規程の一部改正について 第2号議案 すずらん運営規程の一部改正について 第3号議案 令和7年度補正予算について 第4号議案 令和6年度決算の承認について 第5号議案 評議員選任・解任委員の選任について 第6号議案 評議員の候補者案と評議員選任・解任委員会の開催について 第7号議案 定時評議員会の開催について 第8号議案 役員（理事・監事）候補者の選定について
第181回	6月24日	第1号議案 理事長の選定について 第2号議案 職員自主研修補助手当支給規程の制定について
第182回	9月16日	第1号議案 経理規程の一部改正について 第2号議案 就業規程の一部改正について 第3号議案 臨時職員等取扱規程の一部改正について 第4号議案 みつばすみれ学園運営規程の一部改正について 第5号議案 令和7年度補正予算について 第6号議案 公用車入替に係る契約締結について 第7号議案 複合施設電話設備改修工事に係る契約締結について 第8号議案 朝光苑介護保険システム入替に係る契約締結について
第183回	12月25日	第1号議案 令和7年度補正予算について
第184回	3月19日	第1号議案 職員の再雇用に関する規程の一部改正について 第2号議案 みつばすみれ学園運営規程の一部改正について 第3号議案 和光市ほんちょう保育園・和光市にいくら保育園管理規程の一部改正について 第4号議案 保育園保育士等待遇改善手当支給規程の一部改正について 第5号議案 職員処遇改善手当支給規程の一部改正について 第6号議案 令和7年度補正予算について 第7号議案 令和8年度事業計画について 第8号議案 令和8年度予算について 第9号議案 朝光苑宿直警備業務委託に係る契約締結について 第10号議案 朝光苑清掃業務委託に係る契約締結について 第11号議案 朝光苑紙おむつの購入に係る契約締結について 第12号議案 役員賠償責任保険の継続加入について

(2) 評議員会

開催回	開催日	決 議 事 項
定時評議員会	6月24日	第1号議案 令和6年度決算の承認について 第2号議案 役員（理事・監事）の選任について
臨時評議員会	3月30日	第1号議案 理事の選任について

(3) 評議員選任・解任委員会

開催回数	開催日	決 議 事 項
2回	6月6日	第1号議案 評議員の選任について
	3月19日	第1号議案 評議員の選任について

3 監事による監査

開催回数	開催日	内 容
4回	6月3日	決算監査 対象：全施設
	10月1日	臨時監査 対象：朝光苑
	12月25日	中間監査 対象：本部事務局、みつばすみれ学園、すずらん
	1月26日	中間監査 対象：ほんちょう保育園、にいくら保育園、朝光苑

4 複合施設の避難訓練

実施日	訓 練 内 容
4月21日	地震避難訓練（震度4）
5月29日	火災避難訓練
6月24日	地震避難訓練（震度6強） ※車椅子利用者避難
7月11日	志木消防署救急隊によるAED、心肺蘇生法講習
7月30日	火災避難訓練（志木消防署立ち合い）
8月29日	水害避難訓練（垂直避難）
9月22日	火災避難訓練
10月17日	志木消防署消防隊による消火器訓練
10月21日	地震避難訓練（震度6強） ※車椅子利用者避難
11月27日	火災避難訓練 ※車椅子利用者避難
1月16日	火災避難訓練
2月16日	地震避難訓練（震度4強）

3月13日	火災避難訓練
-------	--------

※すずらんでは令和2年度から訓練内容に車椅子利用者避難を盛り込んでいます。

5 自主研修制度の利用状況（令和7年度中の自主研修補助金制度利用者 3人）

所 属	職 種	研修名
みつばすみれ学園	保育士	発達サポーター認証講座
すずらん	生活支援員	介護福祉士実務者研修
にいくら保育園	保育士	発達支援ファシリテータ認定講座

6 各種試験

（1）職員採用試験（令和7年度中の採用決定者 9人）

（6年度に採用決定し7年度途中入職者2人 計11人）

職 種	試験内容	試験日	試験結果（入職日）
看護師	面接	令和7年3月27日	応募者：2人 採用者：2人（令和7年5月1日） （令和7年6月1日）
		令和7年7月24日	応募者：1人 採用者：0人（内定辞退）
		令和7年9月16日	応募者：1人 採用者：0人（内定辞退）
		令和8年2月12日	応募者：1人 採用者：1人（令和8年4月1日）
保育士	面接	令和7年10月8日	応募者：1人 採用者：1人（令和8年4月1日）
		令和7年11月19日	応募者：2人 採用者：2人（令和8年4月1日）
		令和8年2月12日	応募者：2人 採用者：2人（令和8年4月1日）
生活支援員	面接	令和7年9月16日	応募者：1人 採用者：0人（内定辞退）
介護職員	面接	令和7年5月15日	応募者：1人 採用者：0人（内定辞退）
		令和7年8月21日	応募者：1人 採用者：1人（令和7年9月1日）
		令和8年1月28日	応募者：1人 採用者：1人（令和8年4月1日）
介護支援 専門員	面接	令和7年12月5日	応募者：1人 採用者：0人
		令和8年1月14日	応募者：1人 採用者：1人（令和8年3月1日）

（2）職員昇任審査・試験

項 目（方式）	内 容	審査日・試験日	審査・試験の結果
主査級昇任試験（推薦）	勤務評価 面接	令和8年2月12日	対象者：3人 合格者：2人
主幹級昇任審査（推薦）	勤務評価 面接	令和8年2月12日	対象者：2人 合格者：2人
事務長昇任審査（推薦）	勤務評価	令和8年2月18日	対象者：2人 合格者：1人

7 職員数（令和8年3月31日現在／単位：人）

（ ）は常勤換算の人数

施設名	理事長 施設長	事務員		保育士 児童指導員 生活支援員 介護職員 (補助含)		看護職員 機能訓練指導員		栄養士	児童発達支援管理 責任者 サービス管理責任者 相談支援専門員 介護支援専門員 生活相談員 社会福祉士 栄養士・運転手 等			合 計	
									正規	正規	パート		
本部事務局	1	2	1(0.9)	—	—	—	—	—	—	—	3	1(0.9)	
みつばすみれ学園	1	1	—	7	10(6.0)	1	1(0.8)	—	3	5(3.4)	13	16(10.2)	
すずらん	1	1	—	8	17(12.2)	2	1(0.8)	—	1	—	13	18(13.0)	
ほんちょう保育園	1	1	—	12	21(14.3)	—	1(1.0)	—	—	※2	14	22(15.3)	
にいくら保育園	1	※1	1(0.5)	13	20(14.4)	1	—	—	—	2(1.6)	15	23(16.5)	
朝光苑	1	4	2(1.8)	24	10(9.0)	6	1(0.8)	1	11	2(1.1)	47	15(12.7)	
合 計	6	9	4(3.2)	64	78(55.9)	10	4(3.4)	1	15	9(6.1)	105	95(68.6)	

※1 ほんちょう保育園と兼務

※2 栄養士 所属はにいくら保育園だが、ほんちょう保育園の実務を担当

令和7年度 みつばすみれ学園事業報告

1 事業の概要

利用状況

施設利用者の多様なニーズへの対応に努めましたが、年間の契約児童数は令和6年度の72人に対し66人となり、定員に対する利用率は69.1%から64.6%へと減少しました。次年度の就園を見据えて秋以降に入園するケースが多く、利用時期が後半に集中する傾向が見られました。幼稚園、保育園、他事業所と併行して学園を利用する児童が半数以上を占める状況は続いています。併行利用児の中で保育所等訪問を希望する児童17人に対し月1回程度の訪問を実施しました。児童への直接支援に加え、担任および保護者への報告・助言を通して、併行利用先および保護者が園での様子を共有し、子どもへの理解を深められるよう支援しました。また、医療的ケアを必要とする児童8人については、保護者から状況を丁寧に聞き取り、看護師と連携して対応しました。

専門性の高いサービスの提供

保育士・児童指導員による集団療育に加え、OT（作業療法士）、ST（言語聴覚士）、PT（理学療法士）等の専門職による個別療育を実施し、多面的な支援を行いました。また、同年齢の集団の経験のためクラスごとに保育園と交流し、園外保育として地域の公園や図書館、消防署などを訪れ公共の場で社会経験を養いました。特に公園については、保護者のみでは利用が難しい場合もあることから、安全に利用するためのポイントを伝える機会ともなっています。

研修については、職員の主体的な学びを大切にし、外部研修への参加を推進するとともに、園内研修において情報共有を図る機会を設け、職員全体の支援の向上に努めました。保護者支援としては、歯科医師による勉強会や集団選び（就園）および就学までの流れに関する情報提供会を開催しました。あわせて専門職が直接疑問や悩みに応じることで、保護者が見通しをもって進路を考えられるよう支援しました。また、職員及び保護者による当施設の自己評価を行い、運営・療育について現状の課題を明らかにし、改善に向けて取り組みました。

地域支援の強化

「みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センター」と連携し、セルフプランでは難しいケース等に対し、円滑な事業所利用を進めました。

「保育所等訪問支援事業」では、対象児童に対しての直接支援に加え、保育園等の担任職員への間接支援も行い、地域の支援力の向上に努めました。

県からの委託事業である「障害児等療育支援事業」では、幼稚園・保育園等の巡回支援希望が10%程度増加しており、積極的に施設支援事業を実施しました。一方で、重症心身障害児など在宅児童の訪問による支援については、訪問看護等の地域資源が拡充されてきており令和7年度の実施件数は0件でした。

また、「発達障害地域療育センター事業（南西部地域療育センター）」との連携を通して、専門職による支援の提供を行いました。保護者サロンでは例年のテーマである「就学に向けて気になること」に加え、新たに就園を見据えた「我が子にあった集団の選び方」を取り上げ、参加者から具体的にわかりやすいと好評を得ました。また、今年度は地域向け見学会を実施し、当施設での遊びの体験および専門職による保護者相談の機会を設け、保護者と児童に加え、関係機関の担当者に見学いただきました。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	誕生会、地震・火災避難訓練、保護者と施設間連絡会、交流保育、身体測定、こころの発達相談・整形外科健診(月1回)、内科(隔月)、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の指導(週1回・必要に応じ)
5月	クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査)、児童検尿、歯科検診
6月	ダイナミック描画(土曜開所)
7月	夏祭り(土曜開所)
8月	すいか割り、ウォーターパーク、暗闇あそび、コーナー遊び(夏あそび)
9月	運動会(宗岡第三小学校体育館・土曜開所)
10月	土曜開所
11月	やきいも会(土曜開所)、クラス懇談会、児童検便(腸内細菌検査) 児童検尿、歯科検診
12月	クリスマス会
1月	もちつきごっこ(土曜開所)
2月	豆まき、発表会
3月	卒園式

(2) 相談・会議等

相談等	①療育相談／来園・電話相談、個別・訪問・集団療育、健診、機能訓練 ②個別面談、クラス懇談会、保護者と施設間連絡会
施設内会議	①ケース検討会議、カリキュラム検討会議、クラス会議、職員会議 ②通園バス運行会議、給食検討会議
関係機関会議	① 朝霞市 子ども子育て会議(年6回) 発達障害児者支援体制整備連絡会議(年2回) 要保護児童対策地域協議会(年6回) 育成保育審査会(年2回) 子ども読書推進委員会(年1回) 障害者プラン(年3回) 検診後フォローグループ(年11回) ② 志木市 介護給付費等支給審査会(年12回) 要保護児童対策地域協議会(年1回) ひまわり保育判定審議会(年4回) 自立支援協議会(年1回) 幼保小連絡協議会(年3回) 教育と福祉の連携会議(年1回) ③ 和光市 子ども子育て支援会議(年6回) 医療的ケア児等支援協議会(年2回) 〃 入園支援部会(年1回) 〃 看護業務委託事業者選定委員会(年1回) ④ 4市看護職会議(年1回) ⑤ 和光特別支援学校 学校運営協議会委員(年1回)
	見学・実習の受入れ、中学生職業体験 地域の作品展等(チャレンジ作品展/和光市中央公民館)(太陽展/志木市総合福祉センター) 施設便りの発行・配布(月1回)

3 利用状況

児童在籍状況（契約児童）

（月初在籍数：人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	12月	12月	2月	3月	合計
朝霞市	22	22	21	21	21	21	23	25	30	30	30	31	33	300
志木市	12	11	12	11	12	12	12	12	13	13	13	13	16	149
和光市	14	13	14	13	14	14	14	15	18	18	18	17	17	181
合 計	48	46	47	45	47	47	49	52	61	61	61	61	66	630
入園児数	5	2	0	3	0	2	4	9	0	1	1	5	0	31
退園児数	2	1	2	1	0	0	1	0	0	1	1	0	13	21

※退園児 21 人の内訳

就学による卒園 7 人（特別支援学校 6 人、通常級 1 人）保育園入園 5 人
幼稚園一本化 3 人 南西部・保育所等訪問に移行 1 人転居 4 人 逝去 1 人

4 外部協力・援助等

（1）寄附一覧（現金・物品）

—敬称略—

日 付	寄 附 者	金 額	備 考
R07. 08. 28	渡邊 美津子	50,000円	
R07. 09. 06	志木ロータリークラブ	10,000円	
R07. 12. 15	志木市赤十字奉仕団	10,050円	
R08. 03. 31	栗原 友介	500,196円	
合 計	4 件	570,246円	

（2）ボランティア受入れ

通年（製作）	個人（2名）	延べ66人
付き添い児	個人（1名）	延べ31人
福祉学園（7日間）	志木市社会福祉協議会	延べ 7人
夏祭り	個人（2名）	延べ 2人
夏休み	個人（2名）	延べ 3人
運動会	ホンダ労組10名 個人2名	10人 2人
通信制高校のアート活動（3日間）	トライ式高等学院	延べ16人
職業体験 （各3日間）	朝霞市立第一中学校 朝霞市立第二中学校	延べ6人 延べ3人

（3）見学等受入れと職員派遣

	件 名	実施日数	機 関	延べ人数
受入れ	卒園・退園児の引き継ぎと相談	1日	1機関	3人
	学園療育についての見学と体験	13日	11機関	21人
	学園利用児の様子観察	5日	3機関	5人
	次年度就学児・移行児の様子観察	2日	1機関	2人

	学園見学(入園希望者、電話相談など)	99日	—	99人
	学生の受入	0日	0機関	0人
派遣	育成保育対象児の様子観察	7日	4機関	11人
	フォローグループの援助	11日	2機関	11人
	学園利用児の様子観察・情報交換	20日	12機関	20人
	学園概要・療育の説明	0日	0機関	0人
	巡回相談(学園利用児以外)	40日	15機関	45人
	朝霞市医療的ケア児情報交換会	1日	2機関	4人
	志木市医療的ケア児等交流会	1日	7機関	3人
	研修会講師	0日	0機関	0人

(4) 実習受入れ

学 校 名	受入期間	期 間	受入人数	
星美学園短期大学	R07. 06. 02～16	11日間	1人	
大原こども専門学校	R07. 06. 09～20	10日間	1人	
埼玉福祉保育医療製菓調理専門学校	R07. 07. 02	1日間	1人	
道灌山学園保育福祉専門学校	R07. 07. 22～08. 04	10日間	1人	
	R07. 10. 20～10. 31	10日間	1人	
東京家政大学	R07. 08. 06～08. 20	10日間	1人	
日本社会事業大学	R07. 09. 22～10. 08	12日間	1人	
東京医療秘書福祉&IT 専門学校	R07. 10. 27～28	2日間	1人	
淑徳大学	R07. 10. 01～10. 17	12日間	1人	計 19人 延べ160日
	R07. 10. 29～11. 14	12日間	1人	
	R07. 12. 01～12. 16	12日間	1人	
実践女子大学	R07. 11. 1～11. 28	11日間	1人	
日本大学(通信)	R07. 12. 2～12. 26	5日間	1人	
星槎大学	R07. 12. 2～12. 26	5日間	1人	
	R08. 01. 1～01. 23	5日間	1人	
埼玉大学	R08. 01. 0～01. 09	5日間	1人	
東邦音楽大学	R08. 01. 0～01. 09	5日間	1人	
東京家政短期大学	R08. 01. 2～02. 06	10日間	1人	
川口短期大学	R08. 02. 0～02. 26	12日間	1人	

(5) 研修実績

令和7年度 外部研修

日 付	研 修 名	参加人数
R07. 04. 15	埼玉県社協 R7年度初めての仕事研修	1人

R07.05.16	埼玉県児童発達支援部会施設見学会	1人
R07.06.13	和光市保育士向研修会「こどもの声を聴くということ」	7人
R07.07.14	発達障害の基礎理解	2人
R07.07.20	てんかん基礎講座（オンライン）	1人
R07.07.22	和光特別支援学校「子どもたちのこころとからだ」	1人
R07.07.31	聴覚障害児の療育・教育に関する連絡会議研修	1人
R07.08.02	秩父学園自閉スペクトラム症子育て支援セミナー	1人
R07.08.22	エリアネットワーク研修会 多様な子ども達の発達支援	1人
R07.08.24	児童発達支援保育所等における医療的ケアと看護師に求められる役割	1人
R07.08.12	摂食・嚥下指導（基礎）講習会（オンデマンド）	1人
R07.08.12	ハラスメント防止研修（オンライン）	1人
R07.09.30	発達障害と環境支援研修	1人
R07.10.10	自閉症支援の学びと実践（ABC分析）	2人
R07.10.14	虐待防止研修（保育）（オンデマンド）	1人
R07.11.15	作業療法士による発達障害児への生活支援の実際	1人
R07.11.17	看護師対象 発達障害に関する専門知識の向上研修	1人
R07.12.04	障害者施設職員のための口腔ケア研修会	1人
R07.12.08	気づきから保護者との協働に向けて	1人
R08.02.09	朝霞市児童虐待対応担当者研修	1人
R08.02.16	和光市医療的ケア児講習会	1人
R08.02.22	実践交流セミナー	5人
R08.03.17	医療的ケア児者等の災害対策を考えよう	1人

令和7年度 内部研修

日 付	研 修 名	参加人数
R07.04.30	虐待防止／感染症対策（嘔吐等処理について）新任研修	3人
R07.05.13	BCP（自然災害）採用時研修	1人
R07.05.13	虐待防止（全体研修）	16人
R07.05.28	溺水について	13人
R07.06.21	集団体操について	12人
R07.06.25	身体拘束・虐待防止研修	11人
R07.07.08	BCP（感染症・非常災害）新任研修	1人
R07.07.11	AED 研修	11人
R07.08.27	てんかん学基礎講座	10人
R07.08.29	BCP（非常災害）研修（洪水時垂直避難について）	23人
R07.09.24	BCP 訓練：感染症対策手洗い研修	19人
R07.10.04	前庭感覚と固有受容感覚について	11人
R07.10.22	多様な子どもたちの発達支援	13人
R07.12.09	BCP 継続研修（排泄物・嘔吐物処理）	16人
R08.01.24	各クラス児童の1年の育ちについて	11人
R08.02.07	障害のある児童の支援について（福祉会内向け：にいくら保育園共催：外部講師による講演会）	17人 (他50人)

5 保育所等訪問支援事業

【職種】保育士

【事業内容】併行利用児、退園児、南西部利用児中心。児童への直接支援や環境調整・関わり方等について、担任と相談。担任および保護者へ支援内容を返す。

(件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
契約者数	8	12	12	12	12	12	13	14	14	15	17	17	17
訪問件数	6	11	10	11	7	11	13	14	14	14	17	17	142

朝霞市 契約者数5人 保育園2か所、幼稚園1か所、小学校1か所

志木市 契約者数7人 保育園4か所、幼稚園1か所

和光市 契約者数5人 保育園3か所、幼稚園1か所

6 障害児等療育支援事業実績（療育相談利用状況）

【職種】児童指導員、保育士、看護師

【事業内容】在宅障害児（者）の地域生活支援。療育相談（電話相談／来園相談）、訪問療育、幼稚園・保育所等との相互支援等（埼玉県委託事業）

(延べ回数)

	①在宅支援 訪問療育等指導事業		②在宅支援 外来療育等指導事業			③施設支援 一般指導 事業	①～③ の合計	関係機関 との連携
	巡 回 相 談	訪問健康診査	発 達 相 談	療 育	検 診			
朝 霞 市	0	0	2 6	4	0	5 7	8 7	9
志 木 市	0	0	1 1	1 0	0	2 5	4 6	4
和 光 市	0	0	6	6	0	1 6	2 8	3
新 座 市	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	4	0
合 計	0	0	4 4	2 0	0	1 0 1	1 6 5	1 6
	0		6 4					

7 南西部地域療育センターの実績

【職種】臨床心理士、言語聴覚士、作業療法士

【事業内容】専門職が個別療育やご家族への支援を行う埼玉県からの委託事業（地域療育センター事業）。未就学児は児童発達支援給付費で対応。就学児は委託費で対応。

実績件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
給付費対象	40	45	46	51	51	62	65	66	62	63	67	77	695
委託費対象	23	27	25	24	24	19	19	15	28	23	20	24	271
合 計	63	72	71	75	75	81	84	81	90	86	87	101	966

勉強会 6月23日（月）就学情報提供会 16人

7月7日（月）集団の選び方 14人

8 みつばすみれ学園障害児等計画相談支援センターの実績

【職種】 相談支援専門員

【事業内容】 障害者（児）等への相談やサービス利用計画の作成、モニタリング等の支援

契約者数（月初） 特定：特定相談支援 障児：障害児相談支援

カッコ内は相談件数のうちのすずらん・みつばの数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
朝霞市	特定	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
	す	(13)	(13)	(13)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)
	障児	132	131	130	130	130	129	129	130	130	130	131	132
	み	(12)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(13)	(15)	(16)	(16)	(17)	(19)
志木市	特定	31	31	31	31	31	31	31	31	31	31	32	32
	す	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)	(14)
	障児	118	117	118	119	119	120	118	115	112	112	113	108
	み	(5)	(6)	(7)	(6)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(7)	(10)
和光市	特定	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	す	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
	障児	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	41	39
	み	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
小計	特定	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	51	51
	す	(28)	(28)	(28)	(29)	(29)	(29)	(29)	(29)	(29)	(29)	(29)	(29)
	障児	291	289	289	290	290	290	288	286	283	283	285	279
	み	(18)	(20)	(21)	(20)	(21)	(21)	(21)	(23)	(24)	(24)	(25)	(30)
合計		341	339	339	340	340	340	338	336	333	333	336	330

* 8月～すずらん利用者1名、江東区の方契約。

対応件数（月初） 特定：特定相談支援（障害者） 障児：障害児相談支援（障害児）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規計画	特定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
請求	障児	1	1	1	2	1	1	0	2	2	0	2	2	15
更新計画	特定	5	4	3	2	5	0	3	0	4	2	7	2	37
案請求	障児	19	22	28	17	30	15	32	23	33	16	25	34	294
モニタリ	特定	5	9	10	10	6	4	5	5	12	11	3	9	89
ング請求	障児	30	38	53	23	33	27	29	31	36	20	28	34	382
集中支援	特定	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	4
加算	障児	0	3	1	3	2	0	1	4	0	2	0	5	21
モニタリ	特定	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ング加算	障児	0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	7	5	18
合 計		61	77	96	57	78	49	71	66	89	53	72	91	860

令和7年度 すずらん事業報告

1 事業の目標

利用ニーズへの対応

令和7年度中に2人が入所、2人が退所となり、年度末の利用契約数は53人で、年間利用率は99.2%となり、前年度から0.2ポイント増加しました。退所された2人は40代後半であり、いずれもご家族の介護負担により、入所施設への移行を選択されています。

医療的ケア対象者及び、重度者への対応方法については、医療的ケア委員会や個々の支援計画作成時、随時の検討を行い、ケア方法を確認し支援体制の充実を図りました。

利用者のニーズを的確に汲み取るため、利用者の状況や家庭背景を踏まえ、臨時の個別送迎については柔軟かつ迅速に対応しました。また、家庭の都合による送迎時間や送迎方法の変更等にもスムーズに対応し、利用しやすい体制を整えることで、利用促進につながる支援を継続して実施してきました。

支援計画策定と介護、相談体制の充実

個別支援計画書の作成、交付については、書面中心の確認が続いてきましたが、感染症等の影響も少なくなり、対面で確認する機会が年々増えています。保護者会は令和4年度以降、対面開催を行っており、良い意思疎通の場となっています。その他の相談については、日頃の連絡帳や随時電話連絡等で受け付けて、柔軟に対応しています。

相談支援専門員との連携は密に行っており、また、近年家庭からではなく、近隣のグループホームから通う利用者も増えていることから、施設間での情報の共有化も行っています。

また、職員の支援力向上を図るため、外部研修および内部研修に取り組みました。障害特性に関する考え方は年々更新されていることから、外部研修では障害特性の理解を深める研修に参加し、研修後はその内容を施設内研修として職員へフィードバックしました。内部研修では座学だけでなく、実際の支援場面を想定した実技形式の訓練も取り入れ、支援技術の向上に努めました。

安定した施設運営

今年度も、利用者の体調管理に十分配慮しながら施設運営を行いました。主要行事については、6年ぶりに「すずらん祭り」を再開し、地域との交流を図るとともに、すずらんを知っていただく良い機会とすることができました。また、好評の小グループによる外出活動も実施し、外食や買い物など、多くの利用者がそれぞれの活動を楽しみました。外出活動を楽しみにされている方は多く、日頃の活動が作業や訓練中心の利用者にとって、良い刺激の機会となりました。さらに、主要行事では保護者の参加を促し、交流の機会とすることもできました。

今年度は感染症の影響はほぼ受けることがなく運営が行えました。介護給付収入は目標には届きませんでしたが、年度途中から三市以外の利用者も例外的に受け入れ、利用率向上に努めました。今後も職員配置を考えつつ、受け入れが可能な時には、年度途中にも利用者を受け入れる体制を整え、経営の安定化に努めます。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	誕生会(毎月末に各グループ毎に実施)、音楽療法(全6回実施)、身体測定、嘱託医診察等(内科、精神科、整形外科、理学療法、作業療法)、地震／火災／水害避難訓練、製作品販売(3階にて常時展示販売、その他行事での販売)
4 月	出発式、歯科検診
6 月	スポーツレクリエーション(保護者参加、グループ毎に実施)
7 月	七夕
8 月	夏のお楽しみ会
9 月	定期健康診断(車いす利用者胸部レントゲン)
10 月	スポーツレクリエーション(保護者参加、グループ毎に実施) ハロウィン(グループ毎に実施)、定期健康診断(胸部レントゲン、血液検査を含む)
11 月	すずらん祭り(鳴子ボランティアグループ、金管楽器アンサンブルグループ、地域の食堂・カフェ、福祉事業所パン販売、ポップコーン販売、マジックショー、保護者参加)、歯科フォローアップ
12 月	クリスマス会(グループ毎に実施)
1 月	初詣
2 月	節分
3 月	年度終了式

(2) 会議等

施設内会議	①職員会議(毎月) ②給食会議(年3回) ③通所バス運行会議(毎月) ④朝会・反省会(毎日) ⑤個別支援計画会議(随時) ⑥支援グループ会議(年2回) ⑦保護者と施設間連絡会議(年2回) ⑧事故防止委員会(年4回) ⑨感染症防止委員会/衛生委員会(年12回) ⑩虐待防止/身体拘束廃止・適正化委員会(年4回) ⑪医療的ケア委員会(年6回) ⑫ケースカンファレンス(年3回) ⑬バス調整会議(随時) ⑭業務委員会(随時)
関係機関会議	①4市医療職ネットワーク会議(年1回) ②相談支援事業所との適宜連絡(随時) ③和光南特別支援学校 福祉事業所 合同説明会(年1回) ④和光特別支援学校 福祉事業所 合同説明会(年1回) ⑤和光南・和光特別支援学校 進路連絡協議会(年2回) ⑥志木市地域自立支援協議会 全大会(年2回) ⑦志木市地域自立支援協議会 障がい者通所施設連絡会(年1回) ⑧志木市地域生活支援拠点事業 朝霞地区三法人勉強会(年1回) ⑨志木市地域生活支援拠点事業 社会福祉法人連絡会(年1回)
外部会議	① 朝霞市障害者認定審査会(年9回) ② 志木市社会福祉協議会評議員会(年2回) ③ 埼玉県発達障害者支援地域協議会(年2回) ④ 和光市社会福祉協議会 すまいる工房・ゆめちか入所審査会(年3回)

3 利用状況

(1) 市別在籍状況(契約利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R7年1月	2月	3月	合計
朝霞市	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	252
志木市	24	24	24	24	24	24	24	23	23	23	23	22	282
和光市	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
その他	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	8
合 計	54	54	54	54	55	55	55	54	54	54	54	53	650
入所者数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
退所者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2

※利用率 99.2%

(2) 障害程度別内訳

(R8.3月末)

	㊤	A	B	C	判定無し	計
療育手帳(知的判定)	4 2	6	2	1	2	5 3
精神保健手帳の併所持	0	0	1	0	1	2
身体障害者手帳の併所持	2 3	0	1	1	2	2 7

	1種1級	1種2級	2種1級	2種4級	2種5級	計
身体障害 等級内訳	1 6	8	1	1	1	2 7

※車椅子使用者19人

	1級	2級	3級	計
精神障害 等級内訳	2	0	0	2

4 外部協力・援助等一覧

(1) 寄附一覧(現金)

—敬称略—

日 付	寄 附 者	金 額	備 考
R7.11.06	下川初江(すずらん祭りの売上)	4,000円	
R7.12.15	栗原友介(嘱託医報酬分)	250,098円	
合 計	2 件	254,098円	

(2) 地域との交流

通 年	新河岸川「川の国応援団美化活動団体」清掃活動実施
10月	北足立郡市町人権フェスティバル 製作品販売
10月	志木市基幹福祉相談センター主催 障がい児・者通所施設活動紹介 活動班パネル・製作品展示
11月	すずらん祭り 地域の活動団体の演舞・演奏、食堂・カフェ、福祉 事業所・福祉団体の出店、製作品販売
12月	和光市主催 和光市障害者アート展 活動班パネル・製作品展示
3月	志木市社会福祉協議会主催 総合福祉センター祭り 活動班パネル・製作品展示、見学参加

(3) 実習生等受け入れ

ア 特別支援学校学生

学校名	受入期間	受入人数	計 5 人 (延べ 16 日)
所沢おおぞら特別支援学校	R7. 09. 22～R7. 09. 26 R7. 10. 06～R7. 10. 09	2 人	
和光特別支援学校	R7. 06. 03、R7. 06. 17 R7. 07. 07～R7. 07. 09 R7. 07. 22～R7. 07. 24	3 人	

イ 教員

学校名	受入期間	受入人数	計 4 人 (延べ 1 日)
和光特別支援学校	R7. 07. 30～R7. 07. 30	4 人	

ウ 中学生

学校名	受入期間	受入人数	計 4 人 (延べ 3 日)
朝霞第一中学校	R8. 01. 30～R8. 02. 03	4 人	

(4) ボランティア受入れ

畑指導	個人(1 人)	延べ 4 1 人
支援・製作品補助	個人(1 人)	延べ 1 2 人
すずらん祭り	個人(1 2 人)	延べ 1 2 人

(5) その他

年 2 4 回	朝霞市美容師組合ボランティアの会による美容整髪(希望者対象：有料)
---------	-----------------------------------

(6) 人材育成

ア 外部研修

日付	研修名	参加人数
R7. 07. 03	社会福祉法人の経営力強化 財務会計と労務管理	1 人
R7. 07. 20 ～08. 31	第 48 回 てんかん基礎講座 オンライン	1 人
R7. 08. 01 ～08. 02	令和 7 年度 自閉症スペクトラム症支援者実習セミナー(基礎)	1 人
R7. 09. 08	令和 7 年度 ハラスメント防止研修 オンライン	1 人
R8. 02. 07	障害のある児童への支援について	13 人

イ 内部研修

日付	内 容	参加人数
R7. 05. 12	入職時研修 身体拘束・虐待防止 DVD 視聴	1 人
R7. 05. 14	入職時研修 感染症予防 DVD 視聴	1 人
R7. 06. 11	入職時研修 身体拘束・虐待防止 DVD 視聴	2 人
R7. 06. 12、18	感染症対策訓練	計 30 人

R7. 06. 16	入職時研修 感染症予防 DVD 視聴	2 人
R7. 07. 16、22	感染症対策研修	計 28 人
R7. 07. 25	用具を使ったマット運動研修	14 人
R7. 08. 18	入職時研修 身体拘束・虐待防止 DVD 視聴	1 人
R7. 08. 19	入職時研修 感染症予防 DVD 視聴	1 人
R7. 10. 10、15、 12. 24	虐待防止研修	計 30 人
R7. 11. 27、28、 12. 08	感染症対策訓練 吐物処理研修	計 30 人
R7. 12. 17	業務継続計画（BCP）机上研修、実践訓練	19 人
R8. 02. 19、20	感染症対策研修 マイコプラズマ感染症について（動画視聴）	計 29 人
R8. 02. 26	A S D 研修	14 人
R8. 03. 25	労災保険給付について	10 人

令和7年度 和光市ほんちょう保育園事業報告

1 事業の概要

保育内容・障害児保育の推進

令和7年度は在籍児童数86人でスタートし、途中の入退園により年度末は87人、年間利用率は87.3%でした。10月から2月にかけて季節性の感染症に罹患する園児が増えたため、保育室やおもちゃ類の消毒、こまめな換気を行うなど、状況に合わせて環境を整えました。また、6月に不審者侵入や10月に職員の自転車のサドルが3台傷つけられるなど、警察案件がありました。今までの防犯や安全対策を見直すと共に、保護者に協力をお願いし対応を行いました。

保育内容については、一人ひとりの子どもの気持ちを尊重し、主体的に興味関心を払って活動することが出来るように環境の見直しや改善行ない保育の充実を図りました。多様化する児童に対して、どのような環境が必要であるかなど日々の保育を振り返り、試行錯誤しながらも環境を整える事が出来ました。乳児保育・3歳未満児の保育については、保育者が一人ひとりの気持ちを汲み取る事を大切に安心して過ごせるように応答的対応を心掛けました。遊びの積み重ねを大切に環境作りを行う事で、遊びの連続性ができ、様々な経験を意欲的に取り組む姿や、他者を受け入れながら自分を表現する心を育つように保育を展開しました。

発達に支援の必要な在園児や家庭支援を必要とする保護者対応も多く、家庭状況や対応などについて職員間で情報を共有し、ケース会議や研修を重ね、職員のスキルアップを図り、関係機関と連携を取りながら各年齢クラスでの育ちを支えてきました。一時保育児童も日々のクラスの中で生活するため、お互いを理解し仲間として過ごすことができるよう保育者が仲立ちとなり関わりを支えるように努めました。

豊かな感性を育む取り組み

園庭での外遊びや散歩先での遊びを体感する中で、自然の移り変わりを感じたり、目で見て肌やにおいを感じられたりする体験を大切にしました。遊びや生活の中で自ら発見し、試そうとする力の芽を育めるような環境づくりを行い、遊びを通して子ども達から共感・共有を育めるよう安心できる人間関係の構築を心掛け、保育の質を向上し、豊かな感性を育めるようにしました。

食育については、野菜の栽培や調理保育を行い、野菜の成長を実感できるようにし、調理を行う経験を通して「食」への興味関心が持てるよう工夫し行ってきました。

行事については、子ども達のやりたい気持ちを尊重し、作り上げ、取り組む過程での子どもの成長を大切にして取り組む事ができました。

園庭遊びについては、自分で遊びを発展したり協力できるような素材や遊具を提供しました。

保護者支援・地域支援

園と家庭をつなぐコミュニケーションアプリ「コドモン」を活用し日々のやり取りが活性化すると共に写真や動画等を配信することで保護者が保育園での子どもの様子を知り、保育者と共に子どもの育ちを支える事が出来ました。

保育参加については、106人の保護者の方の参加があり、保育園での生活を体感したい保護者が増えました。保護者が子どもたちに向けて絵本の読み聞かせや個別面談を行う事で、クラスの様子を知り保育者の関わりを知ってもらえることでお子さんへの共通理解を深める事が出来ました。

インスタグラムを毎週更新することで、日々の子どもたちの様子や保育園の取り組みや保育

園を知ってもらい地域へアピールするよう努めました。

また、実習生の受け入れを行った他、中学生の職業体験やボランティアの受け入れを行い、保育に興味関心を広げられるように働きかける事が出来ました。地域の方が参加できる「遊ぼう会」は、雨が降る事も多く少人数の利用にとどまったので、場所の柔軟性が来年度以降の課題と認識しています。

2 主な事業の実施状況

(1) 主な年間事業

月例事業	火災避難訓練(毎月)、地震避難訓練(隔月)、防犯訓練(年3回)、布団乾燥、誕生会、市内保育園関係会議(事業者連絡会議、施設長会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会会議)、園だより、クラスだより、献立、保健だよりの発行
4月	0～5歳児懇談会
5月	運動会(4・5歳児入れ替え制)
6月	0, 1, 2歳児親子懇親会 幼児クラス保育参加(6/3～7/31)
7月	保育園運営委員会、夏あそび週間
8月	大規模地震を想定した児童引き取り訓練
9月	夜まではいくえん(5歳児) 乳児クラス保育参加(9/30～11/29)
10月	さんま焼き会、懇親会(3, 4, 5歳児親子)、
11月	やきいも会、5歳児クラス懇談会
12月	音楽あそび会、にいくら保育園交流(5歳児)
1月	もちつき、にいくら保育園交流(5歳児)
2月	節分、保育園運営委員会、0～4歳児クラス懇談会、味噌作り(4歳児)
3月	ひなまつり、本町小学校との交流(5歳児)、本町小学校学童クラブとの交流 5歳児思い出遠足、入園説明会、卒園式、お別れ会

(2) 児童の健康管理

- ・ 身体測定(毎月)、内科健診(6・11月)、歯科検診(6月)、尿検査(11月)
- ・ 乳児健診(5・7・9・11・1・3月)
- ・ プライベートゾーンについての話(4, 5歳児) 手洗い指導、感染症予防指導(看護師)

(3) 地域交流事業

- ・ 和光市図書館団体貸し出し利用(年2回・各100冊)
- ・ 絵本の読み聞かせボランティア「和光絵本とお話の会」(5月～2月、月1回来園)
- ・ 和光市心の推進委員会あいさつ運動(職員と5歳児) 9:00～実施
※市内小中学校との共同事業として各学期の開始時期に1週間ずつ実施
- ・ 本町小学校1年生に絵本の読み聞かせ(月1回8:30～2名15分)

(4) 特別保育事業

- ・ 保育参観／個別面談 106人の参加

3・4・5歳児（6/3～7/31）、0・1・2歳児（9/30～11/29）

（５）実習生の受入れ

保育関係

学校名	受入期間	受入人数	計 3 人 (延べ 30 日)
埼玉学園大学	R8. 02. 03～R8. 02. 17	1 人	
明星大学	R8. 02. 09～R8. 02. 21	1 人	
道灌山学園福祉専門学校	R8. 02. 16～R8. 03. 02	1 人	

保育以外

学校名	受入期間	受入人数	計 8 人 (延べ 14 日)
朝霞地区看護専門学校（看護師実習）	R7. 09. 16～R7. 09. 18	3 人	
家庭裁判所調査官養成課程（司法研修性）	R8. 02・25	3 人	
埼玉県保育士等キャリアアップ保育研修	R7. 08. 06	1 人	
埼玉県子育て支援員研修	R7. 09. 11～09. 12	1 人	

（６）職員研修

外部研修

日付	研修名	参加人数
R7. 06. 03	感染症予防・基礎研修	1 人
R7. 06. 10	子どもの人権から考える	3 人
R7. 07. 10 R7. 07. 25	初任者キャリアパス研修 (全 2 回)	1 人
R7. 07. 01	福祉現場で必要な法律の基礎知識研修（高齢）	1 人
R7. 07. 18	若手職員合同研修会	1 人
R7. 08. 05	一人ひとりに合わせた支援	3 人
R7. 08. 27	チームビルディング	1 人
R7. 09. 11	保育の質を高める研修	2 人
R7. 10. 15	虐待防止研修	3 人
R7. 11. 10	モチベーション維持向上研修	1 人
R7. 11. 14	医療的ケア児等支援者養成研修	2 人
R7. 11. 20 R7. 11. 27	中堅キャリアパス研修	1 人
R7. 11. 21	DV が与える子どもへの影響と心のケア研修	3 人
R7. 12. 14	埼玉県人権保育実践交流会	1 人
R7. 12. 24 R8. 01. 07	新人職員フォローアップ研修	1 人
R8. 01. 07	埼玉県の教育、保育の質を高める研修	1 人
R8. 01. 11	発達性ディスレクシアを正しく理解する	4 人

和光市主催研修

日付	研修名	参加人数
R7. 05. 26	保育の質ガイドライン～子どもの権利～	3 人
R7. 06. 02	子育て講演会	2 人

R7. 06. 10	子どもの人権から考えるからだ教育	3 人
R8. 01. 21	(全 2 回)	
R7. 06. 13	全体研修～こどもの声を聴くという事～	12 人
R7. 07. 22	こだわり・落ち着きがない発達特性を学び、支援に繋げる	3 人
R7. 08. 26	集団と個の両者を大切にするインクルーシブ保育とイングレイティブ保育	3 人
R7. 10. 30	子育て支援	3 人
R7. 11. 07	保育士の想いと保護者の想いが違う時、どうする保護者支援	3 人
R7. 11. 07	メンタルヘルス研修	3 人
R8. 01. 27		
R8. 02. 12	ペアレント・トレーニング基礎講習会	2 人

内部研修

日付	研修名	参加人数
R7. 4. 16	「子どもを尊重する保育・人権擁護、虐待防止について」	13 人
R7. 04. 22～ R7. 04. 25	AED による救命講習	34 人
R7. 07. 27	ペアレントプログラム	20 人
R8. 02. 07	障害のある児童への支援について	9 人

3 利用状況

(1) 児童在籍状況 (月初日)

年間開園日数 292 日 (うち土曜日 50 日)

(単位：人)

月 対象	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
0 歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	5	6	6	6
1 歳児	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
2 歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
3 歳児	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
4 歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19
5 歳児	19	19	19	19	20	21	21	21	21	21	21	21
合 計	86	87	87	87	88	89	89	89	88	88	88	88

うちチャレンジド／4歳児2人・5歳児1人

平均利用率	87.3%	土曜日平均利用者数	4.4人
-------	-------	-----------	------

※土曜日平均利用者数には運動会等の行事参加者が含まれる

※入園前の事前見学、問い合わせ 53 人

※途中退園 7 月 1 名 (2 歳児)、8 月 1 名 (0 歳児)、10 月 1 名 (4 歳児)

※途中入園 5 月 1 名 (1 歳児)、8 月 1 名 (5 歳児)、9 月 2 名 (0 歳児) (5 歳児)

(2) 育成一時保育事業

発達の遅れに心配のあるお子さんを持つ保護者を対象に、リフレッシュなどの理由で一時的にお子さんを預かり、保育する事業として和光市から委託され実施。

利用定員は1日3人まで、利用時間は平日の8:30～16:30、延長時間16:30～17:00。

利用料金は、4時間以内1,200円、その後1時間につき250円加算。延長時間利用料金200円。

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	7	7	8	10	11	6	6	7	10	10	10	12	104
利用延人数	39	40	47	55	45	36	33	39	46	44	36	51	511
平均利用率				71.0%									

令和7年度 和光市にいくら保育園事業報告

1 事業の概要

安心で安全な保育環境の提供・異年齢保育

令和7年度は、転居等による入退園はあったものの、定員110人に対し、在籍数は103人から106人で推移し年間利用率は82.7%でした。夏頃には溶連菌感染症、マイコプラズマ肺炎、ヘルパンギーナ等の感染症が発生し、さらに11月から12月および2月から3月にかけて、インフルエンザに10人以上が罹患したため、保健所へ報告を行いました。

感染症対策として、玩具の消毒や換気の徹底、児童の体調変化の把握、異変時の早期受診の依頼、保護者への情報発信等を行い、感染拡大防止に努めました。その結果、重症化等の事例は見られませんでした。

保育内容については、3歳未満児に対し、一人ひとりの思いや発信を受け止め、応答的に関わることにより信頼関係を築くとともに、子ども達が安心して過ごせる環境を提供し、身の回りのことに主体的に取り組む意欲へつなげました。

幼児の異年齢グループでは、子ども達同士の自然な関わりを通して、年下児の世話や手伝い、教えるといった配慮や、年上児への憧れを持ち、模倣するなど、相互に刺激を受けながら過ごす中で、異年齢ならではの育ち合いを大切にしました。また、子どもの興味や意欲に応じた環境構成や適切な働きかけにより、活動の充実と発展を図りました。さらに、子ども同士の話し合いの場を設け、活動の振り返りや相談を行う中で、自分の意見を伝える力とともに、他者の意見を聞き、折り合いをつける力を育みました。

健康な体作り・食育

令和7年度も、園庭遊びや近隣への散歩など、戸外活動の機会を確保しました。また、毎朝園内放送で体操の音楽を流し、体を動かして一日を始める習慣づくりを行いました。

看護師による指導として、3～5歳児を中心に手洗い・うがい（感染症予防のため）、歯磨き指導、熱中症対策についての話を実施しました。さらに2歳児には「鼻のかみ方」を、5歳児には「命の大切さ」や「プライベートゾーン」について伝え、健康で安全な生活習慣の定着を図りました。

食育については、主に2歳児以上を対象に、簡易的なものも含めて調理保育を実施しました。材料にはプランターで育てた食材等を活用し、おやつや食材の下ごしらえも行いました。4・5歳児は当番制で配膳活動を行い、マスク・白衣・帽子の着用など、基本的な衛生習慣が身につくよう取り組みました。

また、栄養士の指導のもと、「梅ジュース作り」「梅干し作り」「味噌作り」「さんま焼き」などを実施し、旬の食材や伝統的な保存食に触れる機会を設けました。5歳児は給食の食材を四食群に分けて掲示する活動を行い、栄養バランスについての理解を深めました。加えて、「和食の日」に関連し、出汁の材料に直接触れて試飲を行うなど、「まごわやさしい」や「さしすせそ」といった和食の基礎についても学びました。

これらの取り組みを通して、食文化への関心を育むとともに、「食を営む力」の基礎を培ってきました。

保護者支援・地域支援

保護者懇談会を年度始めと年度末に実施し、写真や動画を活用して、日頃の様子や保育の中で大切にしていることを伝えました。個別面談を保育参加（保育士体験：延べ69人参加）と併せて実施し、参加できない保護者には後日面談の機会を設け、園と家庭での育ちを共有

しました。

また、「写真付きエピソード記録（ドキュメンテーション）」や写真販売、動画配信を通して、日々の活動の様子を「子ども達の中に今育っていること」という視点から発信してきました。子ども達の育ちを保護者と共有することで、家庭での育児に生かしていただけるよう取り組みました。

3～5歳児の幼児各グループや5歳児が発信・企画した「（ごっこ遊び等の）イベント」に、在園児に加えて保護者も招き、親子で体験していただく機会を設けました。これにより、親子での関わりを深めるとともに、集団の中での関わりや成長の様子を直接感じていただく機会となりました。

チャレンジ保育対象児は5人在籍し、配慮事項や留意点について各保護者と丁寧に確認を行い、個別支援に努めました。また、保育所等訪問支援事業を受け入れ、関係機関との連携および情報共有を行いました。

地域の子育て世帯向け支援として、園開放事業（あそぼう会）は園庭開放の形で実施しました。入園前の園見学は1日2組までとし、「子どもの主体性を尊重し、学びを支える」保育内容について理解を深めていただけるよう、丁寧な説明に努めました。年間を通して63人の見学者を受け入れました。

2 主な事業の実施状況

（1）主な年間事業

月例事業	火災避難訓練（毎月）、地震避難訓練（隔月）、防犯訓練（3回）、布団乾燥、誕生会 市内保育園関係会議（事業者連絡会議、看護業務会議、栄養士会議、幼保小連絡協議会、心の教育推進委員会） 園だより、クラス・グループだより、献立表、保健だよりの発行
4月	進級式、園外保育（5歳児）、乳児クラス懇談会
5月	幼児グループ・学年懇談会、園外保育（4歳児）、水難訓練
6月	保育園運営委員会
7月	夜まで保育園（5歳児）
8月	大規模地震を想定した児童引取り訓練
10月	親子フェスタ（運動会、4、5歳児のみ園庭で実施）、個別面談、水難訓練
11月	個別面談、火災避難訓練（消防署立ち合い消火訓練）、幼児グループイベント（おばけやしき・お店屋さんごっこ）・（水族館ごっこ）
12月	個別面談 ゆず湯（冬至・足湯ごっこ）、幼児グループイベント（おまつりごっこ）
1月	幼児グループイベント（レストランごっこ）、保育園運営委員会、個別面談
2月	幼児グループ・学年懇談会、5歳児イベント（お楽しみ会）
3月	思い出遠足（5歳児）、卒園式、入園説明会、お別れ会

（2）児童の健康管理

- ・ 身体測定（毎月）、内科健診（5月、11月）、尿検査（11月）
乳児健診（5月を除いた奇数月）
- ・ 歯科検診 6月
- ・ 看護師からの指導
手洗い・うがい指導（感染症予防）、鼻のかみ方、歯磨き指導、熱中症と水分補給・

糖質について、いのちについて、自分の体を大切にする（プライベートゾーン）

（３）地域交流事業

- ・ 園開放日（にこにこデー） ５月～２月 毎週火曜日
- ・ 和光市図書館団体貸し出し利用（年２回・各１００冊）
- ・ 絵本の読み聞かせ ボランティア「和光絵本とお話の会」 ５月から実施 計５回
- ・ みつばすみれ学園２歳児との交流 ６月から実施 計５回
- ・ 大和中学校３年生（家庭科） １１月、１２月に実施 計４回
- ・ 新倉小学校１年生 １月
- ・ ほんちょう保育園５歳児 ２回
- ・ 心の教育推進活動あいさつ運動

※市内小中学校との共同事業として各学期の開始時期に１週間ずつ実施

（４）特別保育事業

- ・ 年末保育（１２月２９日 ９人利用、３０日 ５人利用 ）
- ・ 保育参加（５／１９～１／３０まで実施） 延べ参加人数６９人

（５）実習生の受け入れ

保育関係

学校名	受入期間	受入人数	
実践女子大学	R7. 6. 2～R7. 6. 14	１人	計５人 (延べ５４人)
貞静学園短期大学	R7. 6. 27～R7. 7. 10	１人	
淑徳大学	R7. 8. 18～R7. 9. 2	１人	
山村学園短期大学	R7. 9. 1～R7. 9. 12	１人	
国際学院短期大学	R8. 1. 30～R8. 2. 13	１人	

保育以外

学校名	受入期間	受入人数	
朝霞地区看護専門学校（看護師実習）	R7. 7. 7～R7. 7. 9	３人	計６人 (延べ１２日)
家庭裁判所調査官養成課程（司法研修性）	R8. 2. 18、R8. 2. 25	３人	

（６）職員研修

外部研修

日付	研修名	参加人数
R7. 7. 27	ほんちょう保育園施設内研修 「ペアレントプログラム」	５人
R7. 8. 6	タイプ別コミュニケーション研修	１人
R7. 8. 19	心理的安全性のあるチームの作り方研修	１人
R7. 9. 1 R7. 9. 9	初任者キャリアパス研修	１人
R7. 9. 11 R7. 9. 19	人材育成研修	２人
R7. 11. 21	リスクマネジメント研修	２人
R7. 12. 24 R8. 2. 7	新任職員フォローアップ研修	２人

和光市主催研修

日付	研修名	参加人数
R7. 5. 22	救急救命講習	1 人
R7. 5. 30		1 人
R7. 5. 26	保育の質ガイドライン研修「子どもの権利」 「一人一人に合わせた支援」 「子育て支援」	2 人
R7. 8. 5		2 人
R7. 10. 30		2 人
R7. 5. 30	発達支援研修「発達特性を学び、支援に繋げる」 「集団と個の両者を大切にするインクルーシブ保育と インテグレイティブ保育」 「保育士の想いと保護者の想いが違うとき…」	3 人
R7. 8. 26		3 人
R7. 11. 7		3 人
R7. 6. 10	子どもの人権から考える からだ教育①	2 人
R8. 1. 21	子どもの人権から考える からだ教育②	2 人
R7. 6. 2	子育て講演会「和光市保育の質ガイドラインを見ればわかるパパ、ママ、子どもが幸せになる子育て」	1 人
R7. 6. 13	市内全体研修「子どもの声を聴くということ」	13 人
R7. 11. 18	メンタルヘルス研修①	1 人
R8. 1. 27	メンタルヘルス研修②	1 人

内部研修

日付	研修名	参加人数
R7. 4. 19	全体職員会議にて 「子どもを尊重する保育・人権擁護、同僚性・心理的安全性」	24 人
R7. 10. 18		25 人
R7. 11. 19	埼玉県秋の研修会の動画を視聴の上、振り返り	14 人
R8. 2. 7	施設内研修（みつばすみれ学園と合同） 「障害のある児童への支援について」	19 人

※毎月（4月、1月、2月、3月を除く）1回、エピソード記録報告

3 利用状況(月初日在籍児童数)

年間開園日数 292日(うち土曜日 50日)

月 対象	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	8年 1月	2月	3月
0歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
1歳児	13	13	14	15	15	15	15	15	15	15	14	14
2歳児	17	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18
3歳児	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	21	21
4歳児	23	23	23	23	23	22	22	23	23	23	23	23
5歳児	21	21	21	21	21	20	20	20	20	20	20	20
計	103	104	105	106	106	104	104	105	105	105	103	103

うち育成児童／2歳児1人・3歳児2人・4歳児1人・5歳児1人

平均利用率	：	82.7%	土曜日平均利用者数	：	7.5人
-------	---	-------	-----------	---	------

※土曜日平均利用者数には運動会等の行事参加者が含まれる

※入園前の事前見学、問い合わせ 63人

※家庭の都合による退園 8月 2人(4歳児、5歳児) 1月 2人(1歳児、3歳児)
3月 2人(1歳児、3歳児)

※途中入園 5月 1人(2歳児) 6月 1人(1歳児)
7月 1人(1歳児) 11月 1人(4歳児)

令和7年度 朝光苑事業報告

1 事業の概要

利用される施設となる（利用率の向上）

利用率の目標及び結果

① 介護老人福祉施設	（目標） 90%	（結果）	84.3%
② 短期入所生活介護	（目標） 86%	（結果）	82.7%
③ デイサービスセンター	（目標） 86%	（結果）	82.3%
④ 居宅介護支援センター	（目標） 105件／月	（結果）	67.1件／月
⑤ 地域包括支援センター	（目標） 130件／月	（結果）	164件／月

① 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

特別養護老人ホームでは利用率の回復を目指し、入所受入れ体制を整えることが喫緊の課題として取り組みを続けてきました。令和6年度から朝霞市との協議の上で入所要件の緩和（特例入所及び他市居住者の入所）を継続実施し、徐々に在籍数は増加して年間の新入所数は36人となりました。上半期までは入所目標数の近似値を維持していましたが、慢性化している介護職員不足状態については応募者が無く、臨時的に派遣職員の補充を行いました但定着性がなく、下半期より日々のシフト編成が困難となり、止む無く相談員等が現場業務を補填する状況が続き、入所関連業務が停滞する結果となりました。しかし、既入居者の状態像変化による退所は昨年度よりも下降し、退所者は24人を数えましたが、利用率は84.3%まで回復し、前年度比較から22ポイントの増となりました。

令和7年度はそれまで3年間、毎年続いた苑内コロナウイルスクラスターの影響は無かったものの、現場介護職員数の確保が出来ずに、新入所の受け入れ体制が整わなかったことも大きな要因であると考えています。この減収状態が運営に多大な影響を及ぼしている事を重く受け止め、引き続き危機意識を持ち、利用率向上のためにも必要職員数の確保と育成に重点を置き、公施設設ならではの安心・安全な生活支援を主軸に、地域の入所ニーズに最大限応えていくことを第一義に目指していきます。

② 短期入所生活介護（ショートステイ）

令和7年度はコロナウイルスクラスターの発生はなく、その影響はありませんでしたが、定期利用者の施設入所や状態像変化により利用数は減少傾向となりました。しかし、市や包括支援センター経由からの緊急保護利用によるロングステイ利用者は増加しており、年間利用率は82.7%となり、前年度比較では2ポイントの増となりました。

慢性的な介護職員不足もありますが、特養の空床を活用するなどの柔軟な受け入れ体制を整えて、利用率の安定を図ります。また、障害者短期入所事業については、利用希望者の状態像が施設環境とそぐわない状況もあり、年間を通して利用はありませんでした。

③ デイサービスセンター

当施設は、朝霞市の高齢化社会におけるサステナビリティ（持続可能性）を念頭に置き、地域福祉のセーフティネットとしての役割を強化してきました。

取り組み面では、他施設で受け入れ困難な方の積極的な受入や、BCP（事業継続計画）の実効性を高める体制を徹底し、感染症等の有事でもサービスを停滞させない活動を実施しました。また、個別ニーズへの配慮として、管理栄養士と連携した「料理クラブ」やボランティアによるマジックショーなど、専門性や地域性を活かした活動の幅を拡大。また、機能訓練に

[illegible]

重度化防止と生活の質を向上する取組みの実践

特別養護老人ホームの入居者層は重度化傾向にあり、認知症罹患率への常時見守り体制の必要度は高まってきています。また、既入居者の状態像変化による看取り介護への移行が今後も増加することが想定され、終末期ケアの再構築と日常的な健康管理及び介護力の強化が課題となっています。

身体状況や利用者本人の希望などを考慮した個別プログラムの実践に取り組み、生活意欲の喪失、身体機能の低下が顕著なケースに対する、諸活動や関わりを増やして生活に潤いをもたらすよう、心身の機能保持とともに生活の質向上が図れるよう取り組みを継続していきます。

2 各事業の実施状況

(1) 主な年間事業

区分	介護老人福祉施設（特養）	デイサービス	その他
月例事業	誕生会、注文買物、理髪、口腔衛生指導(毎月定例)、嘱託医回診(内科/週1回、精神科/月2回)、理学療法(月2回)、特養ラインカンファレンス(年18回)、新入所前カンファレンス(適宜)、優先入所検討委員会(月1回)、身体拘束廃止委員会(年4回)、感染症対策委員会(年4回)、給食委員会(年4回)、痰吸引安全委員会(年4回)、褥瘡対策検討委員会(年4回)、事故防止対策委員会(年4回)	誕生会、PTリハビリ、体重測定、デイ定例会議(月1回)、事故防止対策委員会(年12回)、感染症対策委員会(年4回)	朝光苑運営会議(月1回) 衛生委員会(月1回) 苑だより発行(年4回) 地域包括定例会議(月1回) 居宅定例会議(月1回) 虐待防止委員会
4月	料理クラブ、お花見外気浴	お花見散歩、世代間交流(保育園)	
5月	菖蒲湯、端午の節句、園芸活動、母の日	菖蒲湯、園芸活動、さくらんぼ狩り、世代間交流(保育園)、料理クラブ	一斉緊急メール訓練、生活習慣病健診
6月	料理クラブ、ホウリング、父の日	梅ジュース作り、世代間交流(保育園)	全体職員会議(6/13) 苦情解決委員会(6/20)
7月	七夕飾り、スイカ割り	スイカ割り、出張世代間交流(保育園)、マジックボランティア	火災避難訓練
8月	料理クラブ(かき氷)、花火鑑賞(朝霞市彩夏祭)	かき氷、野菜収穫、ぶどう狩り、世代間交流(保育園)	
9月	ぶどう狩り(食堂内) 敬老祝いレクリエーション 入居者胸部レントゲン	フラワーアレンジメント、マジックボランティア	ストレスチェック、一斉緊急メール訓練、地震避難訓練
10月	料理クラブ、ミニ運動会、歯科検診	世代間交流(保育園)、料理クラブ	夜間火災避難訓練
11月	秋祭りレクリエーション	サンマ焼き、世代間交流(保育園)	一斉緊急メール訓練 防犯訓練 職員インフルエンザ接種
12月	インフルエンザ予防接種、年末お楽しみ会 料理クラブ、市内クリスマスイルミネーション鑑賞	年末お楽しみ会、マジックボランティア、ゆず湯、世代間交流(保育園)	
1月	正月遊び、書初め、絵馬づくり、	お正月大会、書初め大会、世代間交流(保育園)	地震避難訓練 利用者アンケート実施

2月	料理クラブ、豆まき	豆まき、料理クラブ	職員腰部検診
3月	お花見散歩	フラワーアレンジメント、世代間交流(保育園)	一斉緊急メール訓練 全体職員会議(書面開催)

(2) 利用状況

朝光苑各事業の令和8年3月31日現在の利用状況は以下のとおりです。

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

(ア) 在籍状況等（単位：人、％）

(定員 75 人)

月 人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
当月初	58	60	59	64	67	68	68	64	60	62	69	69	—
入所者	2	2	7	3	2	2	1	2	4	7	1	3	36
退所者	0	3	2	0	1	2	5	6	2	0	1	2	24
(内、看取り)	0	2	1	0	0	1	5	5	2	0	1	1	18
当月末	60	59	64	67	68	68	64	60	62	69	69	70	—
月別利用率	77.6	78.0	79.9	85.9	87.4	86.2	84.7	81.9	81.5	86.3	91.8	90.9	84.3

※（目標利用率：90％・年間利用率：84.3％）

(イ) 男女別構成（年度末）

区分	男	女	計
人数	22人	48人	70人
割合	31.4％	68.6％	100％

(ウ) 平均要介護度(四捨五入)

※平均要介護度：3.4

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
性 男	3.4	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	3.1	3.1	2.9	3.0	3.0	3.0	3.1
別 女	3.5	3.6	3.5	3.6	3.6	3.6	3.6	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5
平均	3.5	3.5	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3	3.3	3.3	3.4	3.4

(エ) 年齢別構成（年度末）

※平均年齢：85.4 歳

年齢	～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上	計
人数	1人	0人	11人	35人	21人	2人	70人
割合	1.4％	0％	15.7％	50％	30％	2.9％	100％

(オ) 在苑期間別構成（年度末）

※平均在苑期間：2年2か月

期間	6か月未満	6か月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年以上	計
人数(人)	15人	13人	27人	6人	8人	0人	1人	70人
割合(％)	21.4％	18.6％	38.6％	8.6％	11.4％	0％	1.4％	100％

②短期入所生活介護事業（ショートステイ）

（ア）高齢者・障害者別利用状況等（単位：人、％）

（定員 14 人）

月 人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者	高齢者短期	33	32	36	33	32	33	28	27	32	36	29	29	—
	介護予防	1	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1	—
	障害者短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
延べ 人数	高齢者短期	393	389	371	364	345	340	318	319	332	354	324	360	4,209
	介護予防	4	5	0	0	0	0	0	4	3	0	0	2	18
	障害者短期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	397	394	371	364	345	340	318	323	335	354	324	362	4,227
月別利用率		94.5	90.8	88.3	83.9	79.5	81.0	73.3	76.9	77.2	81.6	82.7	83.4	82.7

※1 日平均利用者数：11.6 人（目標利用率 86％・年間利用率：82.7％）

③デイサービスセンター事業

（ア）利用状況等（単位：人、％） 開所日／298 日

（定員 25 人）

月 人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用契約者		79	81	82	82	79	79	80	77	80	79	78	78	—
内、通所相当サービス		21	24	24	23	23	24	23	23	22	21	20	22	—
延べ利用者数		486	544	563	561	517	539	573	500	524	463	401	464	6,135
内、通所相当サービス		119	119	136	126	127	130	133	119	112	112	76	115	1,424
月別利用率		77.8	87.0	90.1	83.1	82.7	86.2	84.9	83.3	87.3	77.2	72.9	74.2	82.3

※1 日平均利用者数／20.6 人（目標利用率 86.0％・平均利用率：82.3％）

④居宅介護支援センター事業

（ア）ケアプラン作成件数（単位：件）

月 件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護支援件数		62	66	68	67	63	62	63	66	63	65	62	59	766
介護予防支援件数		1	2	2	2	3	3	4	4	7	4	3	4	39
認定調査件数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※（目標件数：105 件/月・月平均：67.1 件）

⑤地域包括支援センター事業

（ア）ケアプラン作成件数（単位：件）

月 件数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護予防支援件数		75	83	88	88	84	88	91	91	91	88	91	95	1,053
介護予防ケアマネジメント		66	72	74	71	74	72	76	75	74	76	71	78	879
訪問型及び通所型サービスC		2	6	6	4	0	3	5	5	2	1	1	1	36
住宅改修理由書作成件数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※介護予防支援総件数（目標件数：130 件/月・月平均：164 件）

(イ) 包括支援センター業務

業 務	主な実績等
総合相談・支援業務	・総合業務（11,315件）・介護相談会（14回） ・市民向け講座（6回 152人参加） ・出前講座（1回 9人）
権利擁護業務	・高齢者虐待対応（147件/実人数4人） ・成年後見制度利用支援（4件/実人数2人）
包括的・継続的ケアマネジメント業務	・ケアマネカフェ（3回）
介護予防ケアマネジメント業務	・要支援者のケアプラン作成（第1号介護予防支援事業）
在宅医療・介護連携推進業務	・ACP ワーキンググループ（3回） ・在宅医療・介護連携推進事業に係る多職種合同研修（1回） ・認知症疾患医療連携協議会（1回）
生活支援体制の整備業務	・生活支援コーディネーター配置（1名） ・生活支援コーディネーター会議（12回） ・地域民生委員情報交換（6回） ・よろず屋（第2層協議体）（12回） ・サロンよろず屋支援（9回）
認知症施策の推進業務	・認知症初期集中支援チーム員会議（6回） ・認知症地域支援推進員連絡会（11回） ・認知症サポーター養成講座（2回 282人参加） ・オレンジカフェ（11回 196人参加）
地域ケア会議	・市主催地域ケア会議（12回） ・市主催地域ケア推進会議（2回） ・包括主催地域ケア会議（4回）
一般介護予防事業	・健康椅子ヨガ講座（1回 21人） ・骨・カルシウムセミナー（1回 29人） ・食育・お食事会（1回 22人） ・脳の健康セミナー・介護相談会（1回 30人） ・はじめてのスマホ講座・介護相談会（1回 18人） ・お一人様とお二人様の終活セミナー・介護相談会（1回 32人） ・ラジオ体操「実施区域：幸町・栄町・膝折町」（137回 1,720人参加）

(3) 外部協力・援助等

寄付一覧（物品）

日 付	寄 附 者	金 額	備 考
R7.4.10	道野真己（車椅子等）	500,000 円	
合 計	1 件	500,000 円	

(4) 実習生の受入れ

学校名	受入期間	人数	受入人数 計 19 人
朝霞准看護学校①	R7.6.23～R7.6.27	6	
朝霞准看護学校②	R7.6.30～R7.7.4	4	

ウェルネス歯科衛生専門学校	R8. 1. 19 R8. 2. 2	9	延べ 68 日
埼玉県社会福祉協議会 (介護支援専門員実務者研修)	R8. 3. 9～R8. 3. 13	1	

(5) 面会者数

区分	延べ数	備 考
来苑による面会	1,244人	居室等での面会は中止を継続し、別に面会用スペースを確保のうえ、対面面会を実施。

(6) 人材育成

(ア)外部研修参加

- ・ 管理部、施設サービス部(主催：埼玉県社会福祉協議会・老人福祉施設協議会)

日付	研修名	参加人数
R7. 4. 21	管理者キャリアパス研修	1 人
R7. 5. 12 ～ 8. 4	中堅職員研修	3 人
R7. 7. 15 ～ 7. 23	介護事業D X 研修	4 人
R7. 7. 18	新卒採用につながる広報基礎研修	2 人
R7. 7. 29	育児・介護休業法の改正について 事務員研修	1 人
R7. 8. 18	チームリーダー研修	1 人
R7. 9. 9	初任者研修	1 人
R7. 10. 11	カスタマーハラスメント研修	1 人
R7. 12. 13	クレーム対応研修(動画視聴)	1 人
R7. 12. 18	高齢者の医療的ケアに関する研修(動画視聴)	1 人
R7. 12. 24	新任職員フォローアップ研修	1 人
R8. 1. 30	県老協施設長会議	1 人

- ・ 在宅サポート部(主催：埼玉県社会福祉協議会・老人福祉施設協議会)

日付	研修名	参加人数
R7. 4. 21 R7. 4. 28	令和7年度管理者キャリアパス研修	1 人
R7. 7. 1 ～ 12. 23	埼玉県介護支援専門員更新研修(包括)	1 人
R7. 8. 12	令和7年度埼玉県主任介護支援専門員レベルアップ研修	1 人
R7. 8. 12	令和7年度第1回埼玉県介護支援専門員レベルアップ研修	1 人
R7. 9. 16	令和7年度介護支援専門員スキルアップ研修③	1 人
R7. 9. 16	令和7年度第2回埼玉県介護支援専門員レベルアップ研修	1 人
R7. 11. 21	令和7年度第4回埼玉県介護支援専門員レベルアップ研修	1 人
R7. 12. 22	令和7年度埼玉県介護支援専門員実務研修における実習指導者研修会	1 人
R8. 2. 12	朝霞市企業人権研修会	1 人
R8. 3. 19	朝霞市介護支援専門員研修	2 人

・地域包括支援センター(主催：朝霞市・埼玉県 等)

日付	研修名	参加人数
R7. 5. 12	埼玉県キャラバンメイト養成研修	1 人
R7. 5. 23	あさか相生病院内覧会	2 人
R7. 7. 2	朝霞市居宅介護支援事業所集団指導	1 人
R7. 7. 9	急変時対応シンポジウム	1 人
R7. 8. 28、 9. 5	地域包括ケアシステムデータ活用研修	2 人
R7. 10. 27	地域包括ケアシステム実践者向け研修	1 人
R7. 10. 29	DASK-21 勉強会	2 人
R7. 12. 7	丹野智文さん 認知症とともに生きる 講演会	1 人
R7. 12. 12	感染症対策・応用研修	1 人
R7. 12. 24	第 2 回地域包括ケア担当職員セミナー（動画視聴）	1 人
R7. 12. 24	第 1 回医療・介護従事者セミナー（動画視聴） 医療・介護現場における暴力・ハラスメントについて	1 人
R8. 1. 13、 1. 21	若年性認知症自立支援ネットワーク研修（動画視聴）	1 人
R8. 1. 13	リハビリ型デイサービスビーナスプラス内覧会	2 人
R8. 1. 14	埼玉県病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修	1 人
R8. 1. 19	発達障害セミナー	1 人
R8. 2. 4	看取り研修会（動画視聴） 「地域で支える看取り：意思決定支援とガイドブックの活用」	1 人
R8. 2. 9	生活支援体制整備事業情報交換会	1 人
R8. 2. 13	朝霞市在宅医療・介護連携推進事業に係る「医療と介護をつなぐ座談会」	1 人
R8. 2. 16	第 19 回法テラス埼玉地方協議会「もっとよく知る法テラス」	1 人
R8. 2. 17	事例から学ぶ、高齢者虐待の養護者支援	1 人
R8. 2. 20	第 3 回ケアマネカフェ「ケアマネが押さえておきたい精神疾患支援～ケアマネ実務と行政連携」	1 人
R8. 3. 5	時々入院ほぼ在宅を支えるケースカンファレンス	1 人
R8. 3. 27	地域ケアカフェあさか	1 人

(イ) 内部研修状況

・施設サービス部(特養・短期入所：高齢、障害)

内 容	実施日
事故防止研修	R7. 4. 16、5. 14
感染性胃腸炎対策/嘔吐物処理手順(動画視聴)	R7. 4. 16～4. 22
感染症研修	R7. 5. 14、
看取り介護／個人情報・プライバシー保護研修	R7. 6. 11、7. 9、
身体拘束① 虐待防止(高齢者・障害者)	R7. 8. 13、9. 10
感染症研修②／褥瘡予防	R7. 10. 15、11. 12、
身体拘束②研修(高齢者・障害者)	R7. 12. 10
認知症ケア関連	R7. 12. 10

B C P 関連研修①(事業継続計画抜粋版を視読)	R8. 1. 19～1. 30
手洗い研修 実地訓練	R8. 1. 27～2. 3
B C P 関連研修②(関連動画視聴)	R8. 2. 2～2. 13
施設における接遇マナー研修(動画視聴)	R8. 2. 2～2. 13
「障害を知るために」 法定研修(動画視聴)	R8. 2. 23～2. 27
事故防止②／誤薬予防研修	R8. 3. 11
事故防止(含:入浴事故防止実地研修)	R8. 3. 11、3. 25、3. 31

・在宅サポート部 デイサービスセンター

内 容	実施日
倫理及び法令遵守に関する研修	R7. 4. 22
吐物処理について	R7. 5. 27
身体拘束について	R7. 6. 24
虐待防止関連	R7. 8. 26
入浴介助について	R7. 9. 30
認知症ケアについて	R7. 10. 28
個人情報、プライバシー保護について	R7. 12. 16
感染症について	R8. 1. 28
介護予防について	R8. 2. 24
BCP について	R8. 3. 17

・在宅サポート部 居宅介護支援センター

内 容	実施日
職業倫理について / 法令遵守について	R7. 4. 22
上手な加算の取り方と中間整理について	R7. 5. 28
ケアマネジメントにおける「家族支援」について	R6. 8. 4
8050 問題生活困窮者の支援について	R7. 9. 1
介護支援専門員のメンタルヘルスについて	R7. 9. 1
法令順守について / ハラスメントについて	R7. 9. 16
感染症・まん延防止およびB C P (訓練) について	R7. 12. 24
認知症のケアマネジメントについて	R7. 10. 6
フレイル予防について	R7. 10. 6
感染症・まん延防止およびB C P (研修) について	R7. 11. 25
高齢者虐待防止について / プライバシー保護について	R8. 2. 17
業務効率化と I C T 活用について	R8. 3. 31
他法人合同事例研修会	R7. 6. 12 R7. 10. 9 R8. 3. 12

・地域包括支援センター

内 容	実施日
自転車の交通ルールについて	R7. 4. 2
ケース事例検討会	R7. 5. 7、6. 5、8. 6、10. 1、11. 5、 R8. 2. 4、 3. 4
高齢者虐待対応マニュアルについて	R7. 6. 5
業務継続計画研修・机上訓練	R8. 2. 4
感染症研修・訓練	R8. 1. 7、 1. 30、 2. 5
高齢者虐待防止研修（動画視聴）	R8. 1. 19～2. 15
感染症研修（新規採用者）	R8. 3. 5
高齢者虐待防止研修（新規採用者）	R8. 3. 5
業務継続計画研修（新規採用者）	R8. 3. 10